

ポリマー・オリゴマー事業



事業概要

生活用品から自動車、半導体、電子材料、医薬・化粧品まで、幅広い分野で利用されるアクリル製品を取り扱っています。また、セルロースナノファイバー「アロンフィプロ」の開発にも取り組んでいます。

● ポリマー事業

アクリルポリマーは、モビリティ・電子材料・医薬・化粧品などの注力分野に加え、水処理用薬剤・製紙用顔料分散剤・建築向け接着剤・シーリング材用樹脂など、汎用品から高度に制御された製品まで、国内外の幅広い分野で使用されています。

● オリゴマー事業

光硬化型樹脂「アロニックス」は、無溶剤という環境面のメリットがあることから、インキ、塗料、電子材料など幅広い分野で使用されています。

● 凝集剤事業

生活および産業廃水の浄化や製紙などの薬剤として高分子凝集剤が使われています。

執行役員
ポリマー・オリゴマー事業部長
石井 宏明

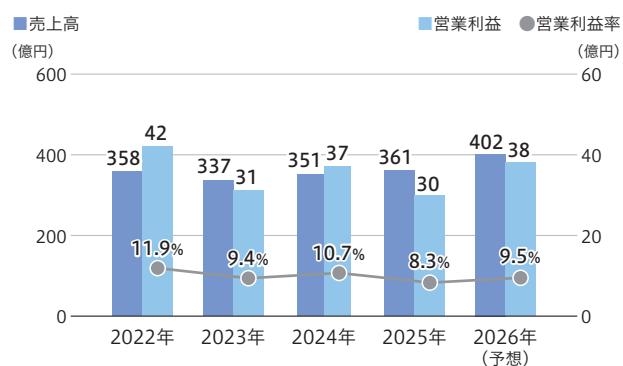


ポリマー・オリゴマー事業は、卓越した合成および重合技術を基盤に、長年にわたり蓄積された高純度化技術を融合させた高付加価値製品のラインアップを拡充し続けます。この取り組みにより、海外市場での発展を実現し、東亜合成グループ全体の成長戦略の中心的な役割を果たしていきます。

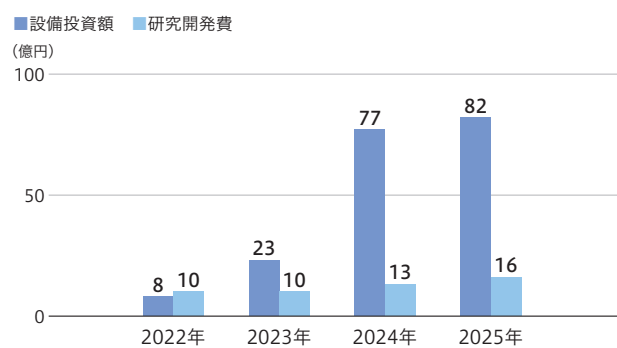
2025年度 レビュー

- **ポリマー事業** 化粧品および半導体用途向けの販売数量が増加し、増収となりました。リチウムイオン二次電池向け製品、医薬・化粧品向け製品の製造設備増強および高機能半導体用ポリマーの研究開発を推進しました。
- **オリゴマー事業** 国内外ともにディスプレイ製造関連製品が好調に推移しましたが、原燃料価格の高騰により減益となりました。AI関連分野の需要増に対応すべく、日本・台湾・中国3拠点での最適生産体制を整えました。
- **凝集剤事業** 海外向けの販売数量増加と国内向けの採算是正により、増収となりました。生産体制最適化による競争力強化を着実に推進、汚泥脱水性能に優れた高機能製品を上市し、事業基盤の強化に取り組みました。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



競争優位性・課題・成長の機会

	ポリマー事業	オリゴマー事業	凝集剤事業
競争優位性	高度なカスタマイズ技術(直鎖、分岐、架橋、粒度、分子構造など)と不純物低減技術(残モノ、残溶剤、金属不純物など)により、様々な顧客ニーズに対応可能	ラジカル硬化型のアロニックスは多官能アクリレートを軸に展開、カチオン硬化系のオキシentanもラインアップ	・生産性に優れる製造技術と構造制御技術により高品質な製品を提供 ・粉末・液状品を手掛ける唯一の国内メーカーとして多様な顧客ニーズに対応
課題	グローバルな競争力を高めるための生産拠点の最適化	グローバルに競争できる品質で差別化した製品展開	グローバルに競争できるコスト競争力と高機能製品の拡充
成長の機会	構造制御と高純度化技術を活用した、医薬品、化粧品、半導体分野での応用拡大	エレクトロニクス、半導体、AI分野等での販売拡大	構造制御技術により、水環境分野のエネルギー使用量削減に貢献、食品および医薬品への応用拡大、東南アジアを中心とした水インフラ市場への参入

中長期的な成長戦略

ポリマー事業

注力分野である自動車・電子材料・医薬・化粧品を中心に、多様な分野で強く求められる高機能・高純度のポリマーを創出し、市場の期待に応え続けます。

海外では、東亜合成（上海）企業管理・東亜合成タイランドを中心に、台湾東亜合成・Toagosei America Inc.とも連携し、現地顧客の多様なニーズに応える製品を展開していきます。

オリゴマー事業

多官能アクリレートをベースに、速硬化性・薄膜硬化性・微細加工性などの機能を付加した新製品の開発を加速し、光学材料、電子材料分野への販売拡大を図ります。

カーボンニュートラル時代への対応として製造時に発生するCO₂排出量削減の検討を進めます。

海外に関しては、生産拠点のある台湾および中国で、半導体・電子材料分野を中心に現地顧客ニーズに沿った製品開発による高付加価値品の展開に注力します。

凝集剤事業

当社グループのMTアクアポリマー株式会社は、高品質の高分子凝集剤「アロンフロック」、「アコフロック」、「ダイヤフロック」により、固液分離や凝集に優れた製品と、多種多様化する用途別に適切なソリューションを提供していきます。

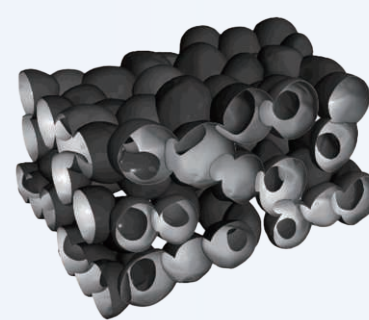
また、新製品開発を通じてカーボンニュートラルなどの社会課題に貢献するとともに、東南アジアを中心とした積極的な海外展開、生産体制最適化によるコスト競争力強化を推進していきます。

FOCUS TOPICS

株式会社3DC（以下、3DC社）への出資

3DC社は、東北大学発のベンチャー企業で、リチウムイオン電池の材料である導電助剤として、次世代の炭素材料「Graphene MesoSponge® (GMS)」の商用化を目指しています。GMSは、非常に薄い炭素の層がスポンジのような立体構造を持つ新しい素材で、柔軟性、多孔性、導電性、耐食性など、さまざまな優れた特徴があります。

今回の出資を通じて、電池分野で技術協力を進め、革新的な材料の実用化や新しい事業の創出に共同で取り組みます。



GMS(出典:3DC社)



電池分野での実用化(イメージ)